平成 27 年度　乗馬等を通じた被災地支援（馬とのふれあい）事業

活動報告書

活動報告①陸前高田まきばっこフレンドリーホース
活動報告②宮古港開港 400 周年記念　宮古小学校乗馬体験会
活動報告③十和田ポニーライダー合宿
活動報告④八戸・小久保保育園乗馬体験会
活動報告⑤石巻プレーパーク in 中瀬公園

平成 28 年 1 月 17 日

十和田乗馬倶楽部

① 事業名：陸前高田まきばっこフレンドリーホース事業

実施期日：平成 27 年 6 月 7 日
主催者名：任意団体あゆっこ応援団
共催者名：岩手県陸前高田市
実施場所：冒険遊び場「まきばっこ」（岩手県陸前高田市広田町黒崎　黒崎公民館向い）
実施事業内容：引き馬、えさやり、レザークラフト、馬の絵画
形態：現地訪問型
参加者：167 名（子ども 123 名、大人 44 名）
スタッフ：17 名（スタッフ 3、会員 2、学生 12）
使用馬匹：5 頭

主催者アンケート結果：
Q.本事業以外に活用している支援
A.受けてません

Q.本事業の実施にあたり、苦労したことはどんなことですか？
A.新規の集客

Q.どのような方法で集客を行いましたか？
A. フライヤーを製作し、教育委員会のメールボックスを通して全小学校と保育園、保育所等へ配布

Q.本事業がもたらした貴団体や地域への効果はありましたか？
A.子どもの健全育成には最適の事業。感情表現が豊かになる。親御さんも大喜び

Q.あなたが本事業で一番楽しんでもらいたいターゲットは誰ですか？
A.（岩手）県　・　（陸前高田）市町村の[年齢層]（児童や学生）代の（ 両方 ）
（理由：子どもの笑顔は家庭に、地域の幸せをもたらします）

Q.「馬とのふれあい」でしか得ることのできない特別な効果はあると思いますか？あるとすればどのような効果ですか？
A.大型動物を見る、触る、乗る、餌をあげるのは勇気が必要で、その体験の達成感は大きい

Q.年度も引き続き実施ができるとすれば、どのようなイベントにしたいですか？
A.活動場所の遊び場「まきばっこ」ではなく、市の中心部で・・・津波災害がひどかったと

ころですが・・・

Q.その他、ご意見やご感想等、自由にご記入ください
A. 市民に様々な馬術をみせてあげたい ウエスタンダンスも・・・

② 事業名：宮古港開港 400 周年記念　宮古小学校乗馬体験会

実施期日：平成 27 年 7 月 11 日
主催者名：宮古海戦組
共催者名：宮古小学校、九戸城流鏑馬実行委員会
実施場所：宮古小学校グラウンド（岩手県宮古市横町 5-1）
実施事業内容：引き馬、えさやり、レザークラフト、弓体験、馬の絵画
形態：現地訪問型
参加者：183 名（子ども 143 名、大人 40 名）
スタッフ：17 名（スタッフ 3、会員 7、学生 5）
使用馬匹：5 頭

主催者感想・意見：
・どの子ども達もとても喜んでいて嬉しくなりました。宮古の子ども達は学校にお馬さんが来てくれた思い出を大人になっても心の財産として大きくなっていってくれることでしょう。
・遠路はるばるお越し頂き本当に感謝の気持ちでいっぱいです。私たちにとって初めてのイベントで不調法につき、ご不便をおかけし、そんな不慣れな私たちに文句ひとつ言わず、優しく接してくださったこと心から感謝申し上げます。

所感：
九戸城流鏑馬実行委員会からの紹介により震災以降、宮古市で地域おこし活動を続ける「宮古海戦組」との連携により実施。今年ちょうど宮古開港 400 周年にあたる記念の年であり、様々な記念イベントを計画していた。
宮古小学校の協力もあり、会場の手配および土曜に生徒を預かる「学童の家」利用者の参加など、多くの来場者を集めた賑やかなイベントとなった。
事前に会場の視察と綿密な打ち合わせを行い、明治維新の官軍や旧幕府軍の衣装を身につけている「宮古海戦組」に合わせ、当社も流鏑馬競技に使用している和装を着用し、会場全体の雰囲気づくりに徹した。加えて、主催者側でも、演奏会や紙芝居、ゲームコーナーなどを用意し、弓体験・レザークラフト体験と合わせて、子どもたちを空きさせないイベントづくりができた。
また、ほとんどの子どもたちが初めてであり、実際に馬に乗ったり触れたりする貴重な経験を提供することができた。

③ 事業名：十和田ポニーライダー合宿

実施期日：平成 27 年 8 月 2 日
主催者名：NPO 法人みんな地球の子どもじゃん
共催者名：福島県伊達市「神愛幼稚園」、pray for the EARTH
実施場所：十和田乗馬倶楽部
実施事業内容：引き馬、馬の勉強、えさやり、レザークラフト、厩務作業体験、馬の絵画、自然体験遊具コーナー
形態：乗馬施設招致型
参加者：24 名（子ども 13 名、大人 11 名）
スタッフ：16 名（スタッフ 4、会員 7、学生 5）
使用馬匹：6 頭

主催者アンケート結果：
Q.本事業以外に活用している支援
A. ＳＮＳを利用したクリック応援サイト gooddo、ソフトバンクかざして募金、ファンダムビレッジ、クラウドファンディングサイトＲＥＡＤＹＦＯＲなどを利用し活動資金を捻出しています。

Q.本事業の実施にあたり、苦労したことはどんなことですか？
A. 福島県を中心とした支援となるため現地の方々の意見の違いや周囲への気遣いなど放射能に関する課題です。実行的な面としては、サマーキャンプの中のプログラムであるため、ボランティアスタッフの確保、活動資金の捻出などです。

Q.どのような方法で集客を行いましたか？
A.現地の幼稚園と連携し、園単位で呼びかけを行いました。

Q.本事業がもたらした貴団体や地域への効果はありましたか？
A.被災地の子どもたちに十和田で楽しんでもらうことは、十和田においても地域を大切にする、ここを必要としている子どもたちがいるということで、有効な活動となりました。

Q.「馬とのふれあい」でしか得ることのできない特別な効果はあると思いますか？あるとすればどのような効果ですか？
A.十和田に来るにあたり乗馬体験はリクエストが一番多かったプログラムでした。やはり汚染を理由に動物と触れ合う事もなかなか厳しい環境ですので、馬との触れ合いは子どもたちや保護者の方の記憶に強く残るのだと思います。それはつまりここ十和田の良さを知

ってもらう効果につながるのだと思います。

Q.次年度も引き続き実施ができるとすれば、どのようなイベントにしたいですか？
A.今年度は昨年度からステップアップし、年齢や能力に合わせたプログラムになっていたことがとても印象的でした。子どもたちも楽しめたと思います。経験により変わっていく今年度のスタイルはとても良かったので次年度もさらにそれがステップアップされ、子どもたちの目標が出来れば良いと思います。

Q.その他、ご意見やご感想等
A.昨年度のリスクエストにより今年度は保護者の方も乗馬を体験させて頂きました。皆さんとても満足されていました。ありがとうございました。

④ 事業名：八戸・小久保保育園乗馬体験会

実施期日：平成 27 年 10 月 24 日
主催者名：八戸弓馬会
共催者名：八戸市小久保保育園
実施場所：八戸市小久保保育園（青森県八戸市桜ヶ丘 2-35-50）
実施事業内容：引き馬、えさやり、レザークラフト、馬の絵画
形態：現地訪問型
参加者：120 名（子ども 100 名、大人 20 名）
スタッフ：12 名（スタッフ 5、会員 3、学生 4）
使用馬匹：6 頭

主催者感想・意見：
Q.本事業以外に活用している支援
A.なし

Q.本事業の実施にあたり、苦労したことはどんなことですか？
A.実施地の選定と人材確保

Q.どのような方法で集客を行いましたか？
A.保護者へのパンフレット、町内会回覧板、商店掲示、口コミ

Q.本事業がもたらした貴団体や地域への効果はありましたか？
A.団体として初の冠企画であり、これから実施していくことに自信がついたことと、知名度をあげられた。

Q.あなたが本事業で一番楽しんでもらいたいターゲットは誰ですか？
A.（青森）県　・　（八戸）市の［年齢層］（全世）代の（ 両方 ）
（理由：馬との直接のふれあいが意外と少ないのでとにかく見る・さわる・乗るをしてほしい）

Q.「馬とのふれあい」でしか得ることのできない特別な効果はあると思いますか？あるとすればどのような効果ですか？
A.笑顔になる、触れる、乗れる、話しかける、食べさせる等の行為を直接できることで、親近感が持て、やさしい気持ちになり、積極的に行動する。

Q.次年度も引き続き実施ができるとすれば、どのようなイベントにしたいですか？
A.流鏑馬競技をする団体として体験流鏑馬や、実技見学も含めたい

Q.その他、ご意見やご感想等
A.団体の特徴を活かせる活動を含めれば今以上に地域と支援の効果が醸成できる。

⑤　事業名：石巻プレーパーク in 中瀬公園

実施期日：平成 27 年 11 月 7・8 日
主催者名：子どものための石巻市民会議
共催者名：石巻市、石巻教育委員会、石巻市 PTA 連絡協議会
実施場所：宮城県石巻市中瀬公園
実施事業内容：引き馬、えさやり、レザークラフト、馬の絵画
形態：現地訪問型
参加者：202 名（子ども 172 名、大人 30 名）
スタッフ：13 名（スタッフ 3、会員 4、学生 6）
使用馬匹：4 頭

主催者感想・意見：
こどもたちの楽しそうな姿や笑顔をみることができました。
雨に当たり、十分な活動ができず残念でした。
もっと長く実施の時間を増やしてくれると嬉しいです。

所感：
毎月 2 回子どものための屋外活動を行っている「子どものための石巻市民会議」との連携により、3 年目実施となる。同会は補助金を活用し、当クラブの宿泊先を確保してくれているため、遠い宮城県石巻市での実施が出来ている。
木工コーナーなども併設され、実施場所もしないで多くの観光客を集める観光地のスペースを確保してもらい、初日は多数の来場者が訪れ、にぎやかなイベントができた。
しかし、2 日目は激しい豪雨に見舞われ、ほとんど実施できず、主催者判断によるイベント自体の中止をよぎなくされた。